

(様式第1号) (第9条関係)

事業基本計画書

令和7年 3月 19日

長野県知事 様

住 所 長野県小県郡青木村夫神332-1
氏 名 株式会社グリーンプランフォー
代表取締役小林桂三

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第9条第1項（第21条第3項、第27条及び附則第6項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所		塩尻市大字柿沢字牛倉沢288-1, 289-1 塩尻市大字柿沢字ミノカヘト251-2	
事業区域の位置及び面積		別添位置図及び事業区域図のとおり 2,087㎡	
太陽光発電電力施設の合計出力		49.5 kW (太陽電池の合計出力 118.0 kW)	
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (無し 小売電気事業者との相対契約)	
	設置工事着手予定日	令和 7年 6月 9日	
	設置工事完了予定日	令和 7年 12月 9日	
	運転開始予定日	令和 8年 1月 9日	
	施設撤去予定日	令和 48年 1月 9日	
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照	
太陽光発電施設の構造に関する事項		スクリー杭、アルミ架台、パネル角度20度	
景観の保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		該当なし	
維持管理計画に関する事項		別添「維持管理計画」参照	
関係市町村長及び関係住民の 範囲並びにその根拠		範 囲	旧塩尻字柿沢区 全戸
		根 拠	「塩尻市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例」に基づく

事業基本計画説明会の開催の日時及び場所	日	令和 7年 4月 9日
	時	午後 7時半より
	場 所	柿沢公民館
意見の提出先	〒386-0012 長野県上田市中央2-10-15 株式会社グリーンプランフォー e-mail : kinokopw4170@gmail.com	
土地の権原の取得予定	説明会実施後に地域住民の意見を聴き事業性を判断。その後取得予定。	
地域社会に資する事項	自治会費の納付	
備考	連絡先 株式会社グリーンプランフォー (電話番号) 0268-71-6750 (FAX番号) 0268-71-6751 (電子メールアドレス) kinokopw4170@gmail.com	

注1 該当する□内に△印を記入すること

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	稜線や斜面、高台ではない。 土地の掘削はせず、地形に合わせた設置計画にした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	小規模設置のため景観への影響は少ない
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	住宅や主要道路には隣接していない。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	大規模な平滑面が連続しないようにアレイを小さくして計画した。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	施設の高さは最低限必要な積雪に対応した高さとした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	広範囲にならないよう隔離などを最小限に抑えて設置面積を極力抑えた。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	パネル設置計画において出来るだけ同じ方角にそろえ、列を合わせ規則性を持たせた。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	地形に合わせた設置により周囲との整合性に配慮した。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	裏面が見えにくいように配慮した。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日

2025 年 3 月 15 日

太陽光発電施設の設置場所	塩尻市大字柿沢字牛倉沢 288-1, 289-1 塩尻市大字柿沢字ミノカヘト 251-2	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	長野県小県郡青木村夫神 332-1 株式会社グリーンプランフォー 代表取締役小林桂三 TEL：0268-71-6750 FAX：0268-71-6751	
保守点検責任者	氏名及び住所	同上
	電話番号	同上
合計出力	49.5 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 48 年 1 月 9 日	
損害保険の加入状況	☐ 有 ☒ 無	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	自社にて撤去を行い、天然更新により復旧予定。	
維持管理計画及び状況の公表方法	月 1～2 回の自社による定期点検 請求があった際に開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

中部電力、行政と連携をとり速やかに対応できるようにする。

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じた時には、二次災害が起きないように速やかに損壊部分を撤去し、周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合には復旧作業を行い、いち早く元通りになるよう最善を尽くす。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☒	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年 24回	1日 15日
			端子箱に破損、変形がないか			
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。			
	☒	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。			
	☒	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。			
	☒	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。			
	☒	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。			
			接続部に緩み、破損がない。			
	☒	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。			
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。			
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。			
			ボルト、ナットの緩みがない。			
			固定強度に不足の懸念がない。			
接続箱	☒	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。			

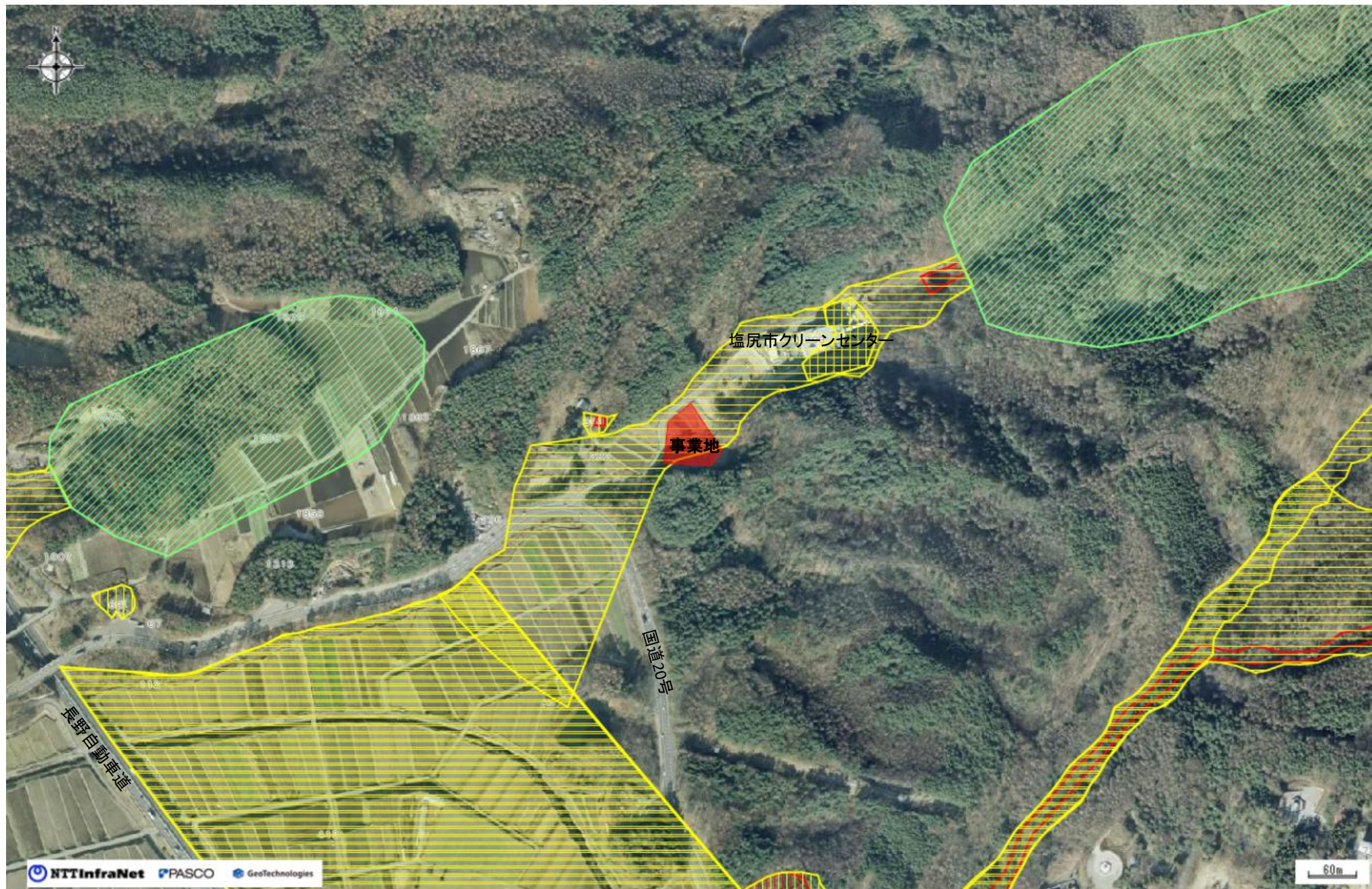
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。			
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない			
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。			

附帯施設

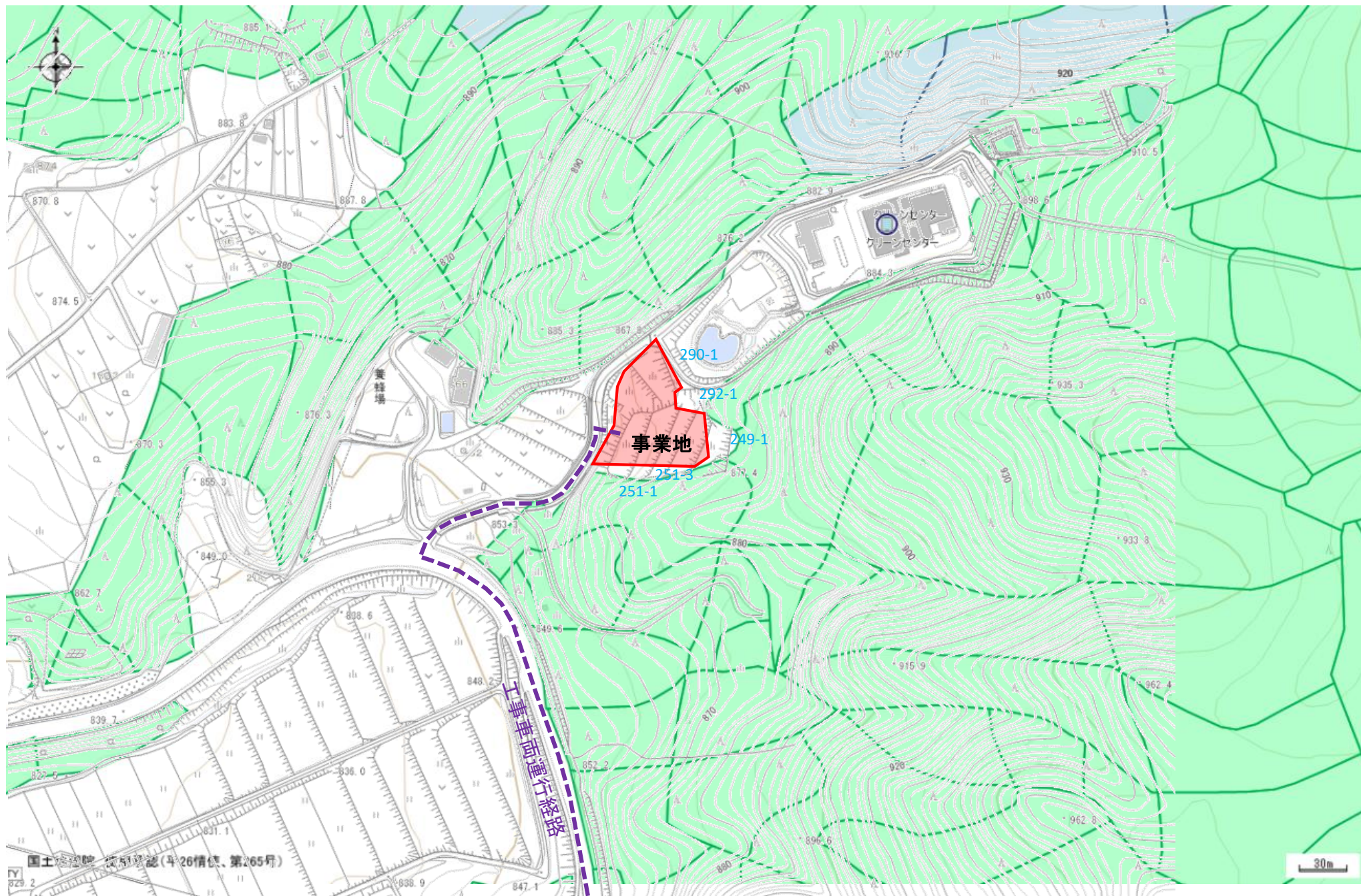
対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 24 回	1日 15日
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			

			草木の繁茂がない。			
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。			
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。			
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。			
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			

位置図



事業区域図



太陽光発電所 工事計画（柿沢288-1）

2025年

2026年

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
工事内容	準備・整地	▽	▽						
	杭打ち		▽		▽				
	パネル設置				▽		▽		
	フェンス設置						▽	▽	
	電気工事					▽		▽	
	電力関係								☆
	完了								□
							運転開始2026年1月を目途		

眺望点

指定眺望点である高ボッチ高原 3大標高展望広場からは、地形(山)により遮蔽され当該地は見えない。

